

令和8年度
第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会（沖縄県大会）

ワープロ技能競技の部

採点の手引



期日：令和8年7月22日（水）
会場：沖縄県立那覇商業高等学校
主催：九州地区商業高等学校長協会

【I 印刷・体裁等】

A 文書の余白 「全商 ビジネス文書採点基準」に従って採点する。]

[エラー]

①上下左右の行頭・行末が2.0cm～3.0cmの範囲内にない。

(下余白の判断は、答案の最後に入力しているテキストボックス等を指す。テキストボックス

が2つある問題で、片方のみを入力した場合は、そのテキストボックスで判断する)

※行頭とは行頭文字のすぐ左側、行末とは行末文字のすぐ右側のことである。

②透かしの文字が広がりすぎ (Jは正解とし、A余白エラーとする)

R7.11.追加

模範解答

模範解答の文書構造図。上部には「担当者 山田 太郎」と記載されています。下部には二つの長方形のテキストボックスがあります。左側のボックスは完全に上下の余白（約1.5cm）を有しています。右側のボックスは、右側の余白が約2.5cmで、左側の余白が約0.5cm未満です。

正 解

正解の文書構造図。上部には「担当者 山田 太郎」と記載されています。下部には二つの長方形のテキストボックスがあります。両方のボックスとも、上下の余白（約1.5cm）を有しています。

テキストボックスが片方の場合でも、行末が
2.0cm～3.0cmの範囲内ならばエラーとならない

エラー

エラーの文書構造図。上部には「担当者 山田 太郎」と記載されています。下部には二つの長方形のテキストボックスがあります。左側のボックスは完全に上下の余白（約1.5cm）を有しています。右側のボックスは、右側の余白が約2.5cmで、左側の余白が約0.5cm未満です。また、右側のボックスの下部に黒い矢印が引いており、「テキストボックスの下余白が3.0cm以上あいている」と説明されています。

エラー

エラーの文書構造図。上部には「担当者 山田 太郎」と記載されています。下部には二つの長方形のテキストボックスがあります。左側のボックスは完全に上下の余白（約1.5cm）を有しています。右側のボックスは、右側の余白が約2.5cmで、左側の余白が約0.5cm未満です。また、右側のボックスの下部に黒い矢印が引いており、「テキストボックスの下余白が3.0cm以上あいている」と説明されています。

テキストボックスの下余白が3.0cm以上あいている

エラー

エラーの文書構造図。上部には「担当者 山田 太郎」と記載されています。下部には二つの長方形のテキストボックスがあります。左側のボックスは完全に上下の余白（約1.5cm）を有しています。右側のボックスは、右側の余白が約2.5cmで、左側の余白が約0.5cm未満です。

正 解

正解の文書構造図。上部には「担当者 山田 太郎」と記載されています。下部には二つの長方形のテキストボックスがあります。右側のボックスは、右側の余白が約2.5cmで、左側の余白が約0.5cm未満です。

テキストボックスの左余白が2.0cm未満である

右テキストボックスの下余白が2.0cm～3.0cm
の範囲内ならばエラーとならない。また、枠の
種類は問わない。
枠の種類については、採点項目Kで採点する。

エラー

透かし文字が広がりすぎ（Jは正解とし、Aでエラーとする。）

R7.11.追加

B フォントの種類・サイズ 指示以外の文字は、明朝体・全角・10.5~12ポイントとする。

[エラー]

①プロポーショナルフォントを使用している。

②指示がない文字（電話番号やURLなど）が、半角で入力されている。

※枠内のフォントは採点項目Kで、行全体のフォントは採点項目Jで採点する。

※段組み、透かし、ドロップキャップのフォントは、採点項目Jで採点する。

※問題文の枠内の文字（電話番号やURLなど）が半角で示されていても、半角で入力することが指示として明記されていない場合は全角で入力することになる。

エラーの場合はB・Kで採点する。

C ヘッダー・フッター 「全商 速度採点基準」に従って採点する。

D 文書の印刷 「全商 速度採点基準」に従って採点する。

[エラー]

①カラー印刷。

②印刷やり直しの場合。

（競技委員長からその旨を付箋等で示し、確実に採点委員長に連絡があることに留意する）

※印刷のやり直しについては色つきの答案用紙を使用する。

E 枠の配置

[正解]

例①二つのテキストボックスが接している。

例②余白をはみだしているが行頭・行末にははみだしていない。

（A余白エラー・E枠の配置は適正である）

例③二つのテキストボックスが上下に離れている。

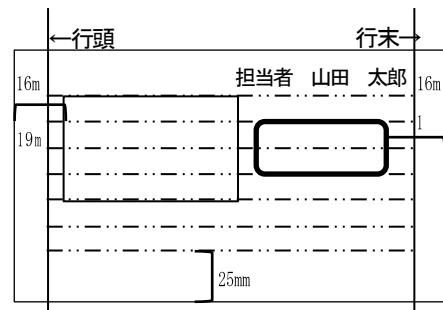
（一つのテキストボックスが前の行から2行以内であれば正解）

例①

正解

例②

正解



余白エラー・枠の配置は正解

例③
正解

担当者 山田 太郎

二つのテキストボックスのうち一つが前の行
から2行以内であれば正解

[エラー]

例①前の行から2行を超えて離れている。（2行を超えてはなれないのでエラー）

例②二つのテキストボックスが重なっている。

例③行頭・行末をはみ出している。（A余白エラーと重複する場合もある）

例④余白が小さく、枠がはみ出ている。（A余白エラー・E枠の配置エラー）

例⑤テキストボックスが入力されていない。

（テキストボックスが入力されていないのでエラー）

例⑥テキストボックスが入力されていない。

（一つしかテキストボックスが入力されていないのでエラー）

例⑦挿入されたテキストボックスが担当者等の行と重なっている。

例⑧段組の境界線が枠線にかかっている。

R7.11.追加

※枠の種類・枠の形については、採点項目Kで採点する。

例①
エラー

担当者 山田 太郎

例②
エラー

担当者 山田 太郎

例③
エラー

←行頭 行末→

担当者 山田 太郎

例④
エラー

← 行 行末 →

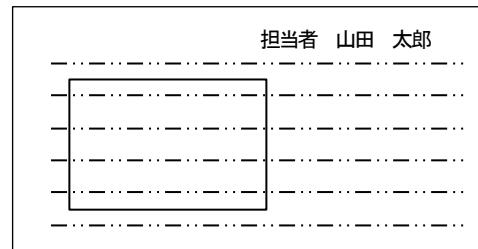
担当者 山田 太郎

余白・枠の配置はエラー

例⑤
エラー

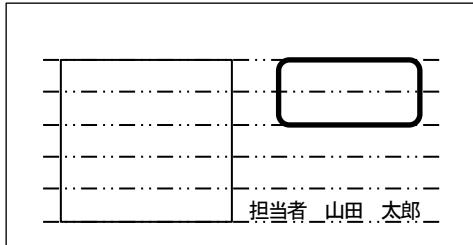


例⑥
エラー

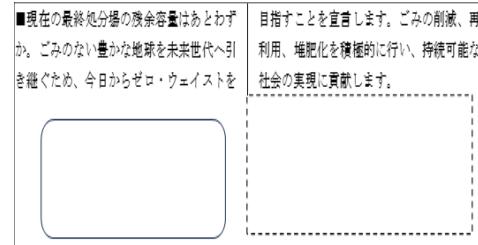


一つだけのテキストボックスの配置はエラー

例⑦
エラー



例⑧
エラー



■現在の最終処分場の残余容量はあとわずか。ごみのない豊かな地球を未来世代へ引き継ぐため、今日からゼロ・ウェイストを目指すことを宣言します。ごみの削減、再利用、堆肥化を積極的に行い、持続可能な社会の実現に貢献します。

R7.11.追加

F 指示以外の操作 指示されていない余計な操作はしない。

[エラー]

- ①指示がないのに、URLにアンダーラインが引かれている。
- ②指示がないオブジェクトや図などが挿入されている。
- ③文字入力以外で、他の採点項目では採点対象にならないような、余計な操作がある。
- ④採点項目E枠の配置以外での問題文にない空白行を入れている（改行）。
- ⑤問題文にない「単位」が入力され、それが右寄せにされている。

（第60回鹿児島大会問題 2表目が例のようになっていた場合）

例⑤ 行頭→ 【参加料無料】 金額：円 ←行末
エラー

※「金額：円」は1表目の単位で、「③右寄せする」の指示項目である。

「金額：円」が右寄せされていなければ問題はない。

- ⑥上下の表の行間が異なる場合。

例⑥

エラー

A. 単独開催

（単位：人）

B. 共同開催

（単位：人）

【II 文字の正確・作表等】

G 文字の正確 採点箇所の [] で示された文字が正しく入力されていること。

[エラー]

①誤字・脱字・余分字などがあって、模範解答と完全に一致していない。

※校正記号による校正箇所は、この対象ではない。

※フォントの種類・サイズは問わない。

H 罫線による作表 模範解答のように、正しく作表されていること。

[エラー]

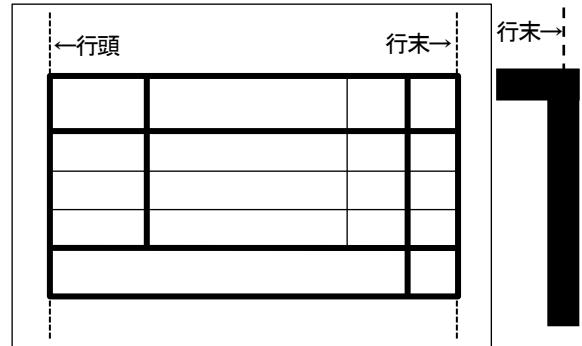
①左・右端の縦罫線の、両方または片方が明らかに行頭行末の境界を越えている。(例①a)

※ただし、下図のように行頭行末のライン上で、縦罫線の太さにより線の太さの2分の1分のはみ出しありはエラーとしない。（例①b）

例①a
エラー



例①b
許容



②表内の文字列が2行になって、罫線の行高が不揃いである。(例②)

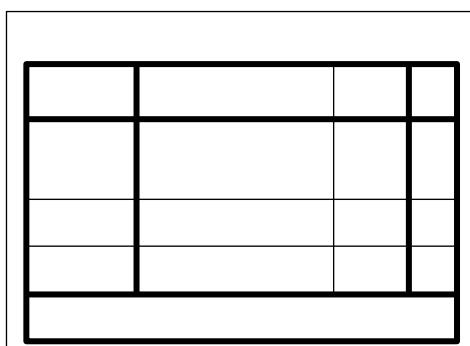
③表内の行数が模範解答の行数に対して、過不足がある。(例③)

④表内の列数が模範解答の列数に対して、過不足がある。

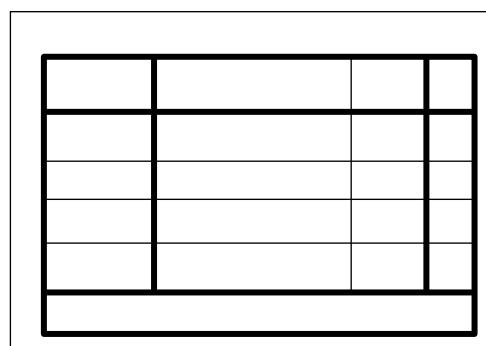
(採点箇所の指示によっては、採点項目 P・S でもエラーになる)

⑤ 1表が2表になっていたり、2表が1表になっている。

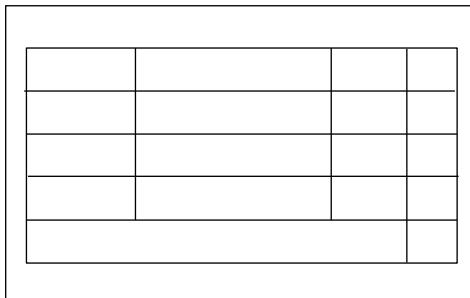
例② エラー



例③



正解



※指示された太線になっていなくても
ここではエラーとしない。

I 罫線の種類 模範解答のように、罫線の種類が正しく引かれていること。

[エラー]

①指示された線の太さの区別ができない。（行数や列数の過不足や未作表も含む。）（例①）

②一本だけでも模範解答と異なる場合。（例②）

正 解

例①
エラー

例②
エラー

J 段組み・境界線、透かし、ドロップキャップ

模範解答のように、指示されたとおりの処理がなされていること。

指定されたフォントの種類でなければエラーとする。

[エラー]

①段組みの場合、改行の位置は問わないが、均等に段組みされていない。

②境界線が引かれていらない、指示された実線でない。

③境界線が罫線にかかっている。

④透かしが正しく入力されていない。また、指示された方向になっていない。

⑤透かしの文字が判読できない、他の文字が判読できない。

※文字の大きさ、色の濃さは問わない。

⑥透かしの文字が、「行全体の網掛け・フォントの種類」の箇所とかさなり、正しく文字の判読ができない。（サステナブルの「ブ」の濁点が網掛けと重なり「ブ」なのか「フ」・「プ」なのか判読不明である。 R7.11.追加

⑦ドロップキャップが指示された行の大きさになっていない。また、配置されていない。

※ドロップキャップした後の文字が判読できない場合はエラーとする。

※余白にされている場合はエラーとする。

※他の文字にドロップキャップされている場合はエラーとする。

模範解答

サスナル		
空き缶・空きビン	隔週火	中身を使い切り、栓やキャップなどは取り除く
		合計 29,100

エラー⑥

空き缶・空きビン	隔週火	中身を使い切り、栓やキャップなどは取り除く	5,600
ナスナル		合計	29,100

R7.11.追加

模範解答

先進国	進国の政府やその機関が、開発途上国の経済発展や福祉の向上、人材の育成などを目的として行う援助のことを、ODAと読んでいます。主な方法	には、二国間援助と多国間援助の二つがあります。二国間援助は、相手国への直接的な支援で、無償資金協力や技術協力、低金利で長期に貸し付ける有償資金協	力（円借款）があります。多国間援助は、国際機関を通じた間接的な支援で、国連児童基金や国連開発計画などへの資金の拠出があります。
-----	--	--	---

エラー⑦ 例1

1行目が空白になっている

先進国	進国の政府やその機関が、開発途上国の経済発展や福祉の向上、人材の育成などを目的として行う援助のことを、ODAと読んでいます。主	でいます。主な方法には、二国間援助と多国間援助の二つがあります。二国間援助は、相手国への直接的な支援で、無償資金協力や技術協力、低金利で長期に貸	し付ける有償資金協力（円借款）があります。多国間援助は、国際機関を通じた間接的な支援で、国連児童基金や国連開発計画などへの資金の拠出があります。
-----	---	--	--

エラー⑦ 例2

ドロップキャップが3行になっている

先進国	進国の政府やその機関が、開発途上国の経済発展や福祉の向上、人材の育成などを目的として行う援助のことを、ODAと読んでいます。主	な方法には、二国間援助と多国間援助の二つがあります。二国間援助は、相手国への直接的な支援で、無償資金協力や技術協力、低金利で長期に貸し付ける有償	資金協力（円借款）があります。多国間援助は、国際機関を通じた間接的な支援で、国連児童基金や国連開発計画などへの資金の拠出があります。
-----	---	--	--

エラー⑦ 例3

ドロップキャップの開始位置が違う

先	進国の政府やその機関が、開発途上国での経済発展や福祉の向上、人材の育成などを目的として行う援助のことを、ODAと読んでいます。主な方	法には、二国間援助と多国間援助の二つがあります。二国間援助は、相手国への直接的な支援で、無償資金協力や技術協力、低金利で長期に貸し付ける有償資金	協力(円借款)があります。多国間援助は、国際機関を通じた間接的な支援で、国連児童基金や国連開発計画などへの資金の拠出があります。
----------	--	--	--

K 枠の挿入・枠線の種類、枠内のフォント

模範解答のように、指示されたとおりの処理がなされていること。

※一行で入力するよう指示されたものを除き、枠内の改行位置は問わない。

模範解答

勝ち点の加算法 ● 勝利は四点 ● 引き分けは二点 ● 敗戦は得点なし	予選プールでは、勝ち点で上位二チーム合計ハチームが決勝トーナメントに進みます。
---	---

例①
正解

勝ち点の加算法 ● 勝利は四点 ● 引き分けは二点 ● 敗戦は得点なし	予選プールでは、勝ち点で上位二チーム合計ハチームが決勝トーナメントに進みます。
---	---

例②
正解

勝ち点の加算法 ● 勝利は四点 ● 引き分けは二点 ● 敗戦は得点なし	予選プールでは、勝ち点で上位二チーム合計ハチームが決勝トーナメントに進みます。
---	---

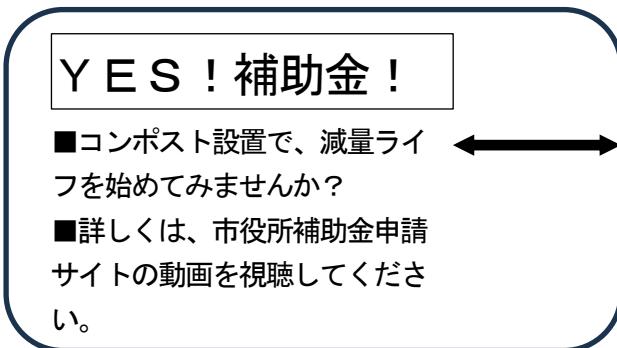
行頭の文字位置が異なっていても、エラーとしない。ただし、採点箇所に■(スペース)などの指示があればエラーとする。

[エラー]

- ①採点項目の対象箇所が処理されていない。（未入力の場合も含む）
- ②採点表で指示された箇所の、フォントの種類（全角・半角含める）が違う。
(サイズは標準より大きければ可)
- ③枠線から文字の囲み線がはみ出している。（K枠内のフォント種類エラー）

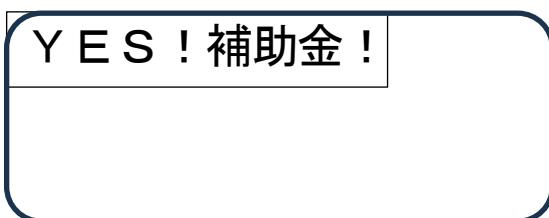
例③

正 解 枠内の改行位置は問わない。オブジェクト内の右側に余白があってもエラーはとらない。



例③

エラー 枠線から文字の囲み線がはみ出している（K枠内のフォント種類エラー）



模範解答

例①

正 解 文字の正確でない場合は
1文字スペースでも正解
(■の数は問わない。)

スポゴミ甲子園

参加人数■■各チーム5名
競技時間■■60分
目的■■社会貢献活動
電話番号■■0263-47-8132
H■■P■■<https://www.sgmi.lg.jp>

スポゴミ甲子園

参加人数■各チーム5名
競技時間■60分
目的■社会貢献活動
電話番号■0263-47-8132
H■P■<https://www.sgmi.lg.jp>

※K・Fでもエラーを取らない。

例②

正解 Kは正解とし、枠線から文字上のスペースは、F指示以外の操作エラーとする

スポゴミ甲子園

参加人数 ■ ■ 各チーム 5 名

競技時間 ■ ■ 60 分

目的 ■ ■ 社会貢献活動

※ 枠線の細線と太線の基準について

◎上の作表の罫線を基準とした。作表の外枠が太線、格子で入っている線が細線になっている。それを基準に判断した。

R7. 11. 追加

【III 指示・項目等の処理】

◎これ以下の項目については、指示された箇所に編集エラーおよび未入力文字・誤字・脱字
余分字などのエラーが一つでもあれば、当該項目はエラーとなる。

L 校正記号による校正

[エラー]

①校正記号の指示どおりに校正されていない。

※校正記号により数値データの訂正が指示されていて、数値訂正が正しければ、その箇所に
その他の編集指示がない場合、左寄せはエラーとしない。ただし、均等割付けや右寄せ
されている場合は、Fの指示以外の操作でエラーとする。（また、右寄せの指示があつ
てその処理をしていない場合、L校正記号ではエラーとせず、Tソート・右寄せでのエ
ラーとする。）

模範解答

種類	収集日	注意点	排出量
P E T ボトル			

※ L以下の項目については、採点箇所に編集エラー及び未入力文字・誤字・脱字・余分字など
のエラーが一つでもあれば、当該項目は不正解とする。（採点表に記載されている）

「種類」の項目下のデータは、「⑤均等割付けする。」の指示がある。

正解 p e t をPETと校正記号による校正はできている。

種類	収集日	注意点	排出量
P E T			

※ 枠幅をPETの3文字で作表しているので、均等割付けの判断はできないが、エラーはと
らない。

R7.11.追加

M 標題のフォント

[エラー]

①サイズ・配置・文字装飾のいずれか一つでも処理されていない場合。

※サイズについては、標準サイズより大きければエラーとしない。

※標準のフォントサイズよりも大きければエラーとしない。

N 網掛け（下線）

[エラー]

①指示された箇所に正しく網掛け（下線）処理がなされていない場合。

※網掛け（下線）の種類が指示されていない場合、網掛け（下線）の種類の違いはエラーと
しない。

- (正答) 文字が網掛けされている
(誤①) 文字が網掛けされている
(誤②) 文字が網掛けされている

(誤①) 指定された文字に網掛け（下線）ができていない

(誤②) 指定された文字以外に網掛け（下線）がなされている

O 単位の右寄せ

[エラー]

- ①右寄せされていない。

模範解答 (単位:人) □ | (誤①) (単位:人) ■□ | (正解①) (単位:人) □□

※**行末から左半角1文字分までの**ずれは正解

※()と:が半角で入力されている場合は、採点項目Bで採点する。

ここではエラーとしない。

P 項目名の位置

[エラー]

- ①指示された項目名の位置が、枠内において上下左右のスペースが違う。(例①)

- ②枠内において、均等割付けの処理がなされている。(例②)

- ③作表されていないため、上下左右の判別ができない。(例③)

正 解	場 所	テ — マ	特 徵	人 数
-----	-----	-------	-----	-----

例①エラー	場 所	テ — マ	特 徵	人 数
-------	-----	-------	-----	-----

例②エラー	場 所	テ — マ	特 徵	人 数
-------	-----	-------	-----	-----

例③エラー	場所	テーマ	特徴	人数
				123,459

※「人数」以外の項目は「左右にかたよらないように作成されている」という判断がつかない
のでエラーとなる。(「均等割付け」と区別ができない)

Q 均等割付け

[エラー]

- ①採点で指示された箇所が、均等割付けされていない。

- ②作表されていないため、判別できない。

※ソート指示がされている場合、ソートされていなくてもここではエラーとしない。

R 左寄せ

[エラー]

- ①採点で指示された箇所が、左寄せされていない。(均等割付け・右寄せ等)

- ②作表されていないため、判別できない。

- ③採点で指示された箇所が、列幅が狭く、左寄せされたのか判別できない。

※ソート指示がされている場合、ソートされていなくてもここではエラーとしない。

S データの位置(列の並び)

[エラー]

- ①採点で指示された行が、模範解答の並びと違っている。

- ②未入力の列があり、列の並びが確認できない。

- ③作表されていないため、列の判別ができない。

※ソート指示がされている場合、ソートされていなくてもここではエラーとしない。

T ソート・右寄せ

[エラー]

①指示された列の数値データが、行全体で、降順（昇順）にソートされていない。

②右寄せが指示されている場合、右寄せされていない。

③3桁ごとのコンマが指示されている場合、コンマがない。

④数値の入力ミスのため、模範解答と違う位置にソートされている。

⑤作表されていないため、ソートはなされているが、右寄せの判別ができない。

※ソートの採点箇所のデータが、模範解答の位置にある場合、他のデータに誤りがあっても
ここではエラーとしない。（正解例）

（模範解答）

（②③の誤り例）

（正解例）

(単位：人)		
特徴	年度	□□□□
	1990	1,234
	2010	1,200
	2000	1,090

↑採点箇所

(単位：人)		
特徴	年度	□□□□
	1990	1,234
	2010	1,200
	2000	1,090

↑コンマ・右寄せなし

(単位：人)		
特徴	年度	□□□□
	1990	1,234
	2010	1,120
	2000	1,090

↑採点箇所の上のデータが
入力ミス
(ソートが正と偽の場合)

※ソート採点箇所は同じ行にある文字列とセットで指定する。

U 行全体の網掛け・フォントの種類

[エラー]

①採点で指示された行全体が網掛けされていない。

②指示された行全体の文字が指示されたフォントになっていない。

※網掛けの種類、色は問わないが網掛けの色が濃くて文字が判読出来ない場合はエラーとする。

※色の濃さで他の採点項目も判読できない場合は重複してエラーとする。

※網掛けの色が濃すぎて文字の色が白になった場合はエラーとする。

V 合計の計算・右寄せ

[エラー]

①指示された列の合計データが、正しく計算されていない。

※データの入力ミスにより合計が違う場合もエラーとする。

②右寄せが指示されている場合、右寄せされていない。

③3桁ごとのコンマが指示されている場合、コンマがない。

※「合計の計算」があるべき列が違っていても、正しく計算できていればエラーとしない。

ただし、Sデータの位置（列の並び）ではエラーとなる。

W 合計等の位置

[エラー]

①「合計」などの文字位置が、枠内の中央より半角でも右に入力されていない。

※枠内でセンタリングされている場合もエラーとする。

②作表が模範解答のようになされていないため、対象の枠の判別ができない。

例①エラー

場 所	テ 一 マ	特 徴	人數
合 計			

例②エラー

場 所	テ 一 マ	特 徴	人數
合 計			

模範解答

衣 類 ・ 古 布	金	なるべく不用品回収業者に依頼する	4,100
合 計			31,300

←—————→
中央

正 解 作表に誤りはあるが、作表された枠内の中より右に入力されている。

衣 類 ・ 古 布	金	なるべく不用品回収業者に依頼する	4,100
合 計			31,300

←—————→
中央

R7.11.追加

X ルビ

[エラー]

- ①模範解答のように、指示された文字に正しくルビがふられていない。

模範解答

かごしま
鹿児島県

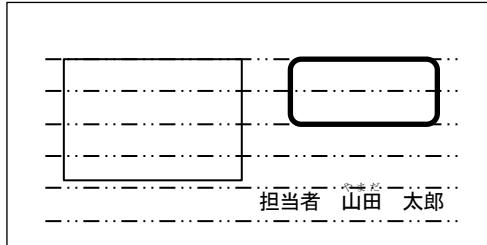
エラー

鹿児島県

- ②ルビが上の行の文字等と重なっている。

例②正解

かごしま
大分県
鹿児島県



例②エラー

かごしま
大分県
鹿児島県

※接しているのは正解

- ③ルビをふる対象の文字が間違っている。

例③エラー

かごしま
鹿児島県

かごしま
鹿児 県

※対象の文字が未入力の場合もエラー

- ④ルビをふる対象が間違っている。

例④エラー

かごしま
鹿児島県

- ⑤漢字の文字数とルビの文字数が異なる場合、漢字の文字数の範囲内にルビがあればエラーとしない。

例⑤正解)

かごしま
鹿児島県

Y 担当者等の位置

模範解答 担当者 山田 太郎 |

↑行末

正解 担当者 山田 太郎 ■ |

↑行末

[エラー]

- ①右寄せされていない。

例①エラー

担当者 山田 太郎 ■ |

※行末から左半角1文字分までのずれは正解